

# 2016 年度日本建築学会大会（九州） 建築デザイン発表会発表梗概 応募要領

会場：福岡大学

期日：2016 年 8 月 24 日（水）～26 日（金）

第 9 回を迎える「建築デザイン発表会」は、2016 年 8 月 24 日（水）から 26 日（金）まで 2016 年度大会（九州）・福岡大学において開催いたします。

この建築デザイン発表会は、会員が設計・計画した建築デザインを発表・議論する場を大会のなかに設けて設計系会員の学会活動への参画を促し、設計系の実務者、教員、大学院生等に建築デザインの評価の機会を提供するとともに、実務・大学院等における設計教育、ひいては設計の質の向上に資することを目的としています。

ここでいう建築デザインとは、設計の論理性、工学的・技術的裏付け、実現した効率性・経済性の根拠等が明確なデザインをいいます。発表にあたっては、以上の主旨がよく伝わるよう表現してください。

2016 年度大会で発表する建築デザイン発表梗概を下記の要領で募集いたしますので、ふるってご応募ください。発表の方法は、発表用ポスターを掲示し、PC 用プロジェクターを使って講演発表を行います。詳細は後日「大会プログラム」および本会ホームページで公表いたします。

なお、下記事項に十分ご留意のうえご応募ください。

- 1) 講演発表は正会員（個人）・準会員に限ります。
- 2) 昨年度から、建築デザイン発表会および学術講演会において、それぞれ 1 題（計 2 題）の講演発表が可能となりました。応募規程「3. 発表者の権利・義務」「9. 発表登録費」をご覧ください。
- 3) 講演発表者もしくは共同発表者に 2015 年度会費未納者、2007 年度以降の大会発表登録費未納者、2015 年度論文予約購読費未納者がいる場合は応募できません。
- 4) 講演発表者ならびに共同発表者は、発表登録費（表-1 参照）を請求書に記載の期限までに納入しなければなりません。ただし、論文予約会員は、発表登録費を免除します。
- 5) 大会に参加する場合は発表登録費とは別に大会参加費が必要になります。
- 6) 代理の講演発表は認められていません。ただし、建築デザイン発表会、学術講演会の両方に投稿し、かつ相互の発表時間帯が重なった場合（半日単位）には、学術講演会の講演発表を行うこととし、当該の建築デザイン発表に限って共同発表者による代理の講演発表を認めます。
- 7) 建築デザイン発表会は、公開の場で発表しそれが議論されることを目的としていますので、必ず大会に参加し、講演発表を行ってください。
- 8) 応募締切：2016 年 4 月 8 日（金）17 時は厳守です。学術講演の締切と異なりますので注意してください。
- 9) 締切後の原稿の訂正は一切認められていません。
- 10) 原稿執筆要領に示されている基準を大きく逸脱した原稿は不採択の対象となります。
- 11) 新入会の方は、応募時までに必ず入会手続きを済ませてください。学術講演会の「応募上の注意」を参照してください。
- 12) テーマ部門では、各発表終了後に全体ディスカッションを行い、招待講評者が優秀発表を顕彰します。テーマ部門の発表者は、当該セッションの最後まで参加してください。
- 13) 大会第 2 日目（8 月 25 日（木））に発表者（共同発表者含む）による懇親会を予定しております。
- 14) 本文の言語は、日本語のほか英語での投稿も受け付けます。今回より英文専用の投稿サイトを設けますので、ふるってご応募ください。

電子投稿の大会コードは半角小文字で“fukuoka”です。

## 応募規程

### 1. 対象

- a. 本会会員の設計・計画した建築デザイン（国外に立地するものを含む）とし、実施作品、計画案、大学の卒業設計、大学院の設計課題等を含む。
- b. 建築物の意匠設計ばかりではなく、構造設計、環境・設備設計等の技術分野の設計、まちづくり・景観・団地・広場などの都市・地域デザインや造園の設計、保存・修復・復元等の設計、インテリア・家具・ディテールのデザイン、その他建築にかかわる設計を幅広く含む。

### 2. 応募・発表資格 発表者（講演発表者および共同発表者）の資格は次による。

#### 2.1 講演発表者（〇印）

- a. 正会員（個人）・準会員であって、発表登録費（表-1 参照）を期限までに納入した者。ただし論文予約会員の発表登録費は免除する。
- b. 2015 年度会費未納者、2007 年度以降の大会発表登録費未納者、2015 年度論文予約購読費未納者は応募できない。

#### 2.2 共同発表者（連名者）

- a. 正会員（個人）・準会員であって、発表登録費（表-1 参照）を期限までに納入した者。ただし論文予約会員の発表登録費は免除する。
- b. 2015 年度会費未納者、2007 年度以降の大会発表登録費未納者、2015 年度論文予約購読費未納者は応募できない。
- c. 会員外であって、発表登録費を期限までに納入した者。

### 3. 発表者の権利・義務 発表者の権利、義務は次のとおり。

- a. 講演発表者（〇印）は、建築デザイン発表会に出席し、一名 1 題、または学術講演会 1 題と併せて 2 題の講演発表を行うことができる。
- b. 講演発表者は必ず大会に参加し講演発表をしなければならない。共同発表者による代理の講演発表は認めない。
- c. ただし、建築デザイン発表会、学術講演会の両方に投稿しかつ相互の発表時間帯が重なった場合（半日単位）は、学術講演会の講演発表を行うこととし、当該の建築デザイン発表に限って代理の講演発表を認める。学術講演については代理の講演発表は認めない。
- d. c 項の場合、代理の講演発表は、正会員（個人）または準会員であり、当該建築デザイン発表の共同発表者に限って認める。該当する者がいない場合には、代理の講演発表を認めない。
- e. 代理の講演発表は、一名 1 題を限度とする。
- f. c 項の「発表時間帯が重なった場合」とは、半日単位で発表時間が重なった場合を指す。
- g. 共同発表者（連名者）は、名を連ねる梗概の題数に制限はないが、講演発表を行うことはできない。
- h. 講演発表者の出席・欠席および c 項による代理の講演発表は学術推進委員会に報告され、記録として保存される。また、欠席および c 項による代理の講演発表の講演番号は本会ホームページにおいて公表される。

### 4. 応募方法 ウェブからの応募に限る。ウェブ上の建築デザイン発表申込みおよび建築デザイン発表梗概原稿の送信をもって応募とする。なお、締切後の原稿の訂正は一切認めない。

### 5. 応募部門 応募部門は、テーマを定めない一般部門と、テーマおよび招待講評者をあらかじめ公表するテーマ部門のいずれかとし、建築デザイン発表申込みの所定欄に応募部門を明記する。

#### 5.1 一般部門

一般部門は、テーマの制約を設けない部門で、プログラム編成会議で発表セッション分けを行う。

#### 5.2 テーマ部門

テーマ部門のテーマおよび招待講評者は年度ごとに定める。2016 年度のテーマ・招待講評者は、次ページの「テーマ部門のテーマ・招待講評者」による。テーマ部門は 1 テーマあたり最大 20 題とし、招待講評者がプログラム編成時に選ぶ。テーマ部門に選ばれなかったものは、一般部門で発表する。

### 6. 発表方法 発表の方法はポスター展示を伴う講演発表とする。発表方法等の詳細については、学術推進委員会が公表する。講演発表に際しては会場に備え付けられた機器（PC 用プロジェクター）以外での使用はできない。

### 7. 応募期間

期限：2016 年 3 月 1 日（火）から **4 月 8 日（金）17 時**（厳守）（**学術講演の締切日と異なるので注意してください**）

提出先：<http://www.ajj.or.jp/jpn/d-taikai2016/>

### 8. 建築デザイン発表梗概の採否 建築デザイン発表梗概の採否は、学術推進委員会が決定する。下記条項等に照らし建築デザイン発表梗概として不適当と認められるものは採択しない。不採択となった場合は 5 月 20 日までに本人に通知する。

- a. 梗概に記された内容が著しく不十分なもの。
- b. 内容が商業宣伝に偏したもの。
- c. 応募規程、執筆要領に反するもの。

### 9. 発表登録費 発表登録費は表-1 による。ただし、留学生の会員の発表登録費は発表申込み時に申請があれば減額する。

- a. 講演発表者ならびに共同発表者は、発表登録費（表-1 参照）

表-1 発表登録費

	発表登録費	発表の可否			
		講演発表 A	講演発表 B	共同発表	
1) 論文予約会員	免除	可	可	可	
2) 正会員・準会員	・講演発表 A	9,000 円	可	不可	可
	・講演発表 B	13,500 円	—	可	可
3) 留学生の会員	・講演発表 A	2,000 円	可	不可	可
	・講演発表 B	3,000 円	—	可	可
4) 会員外	13,000 円	不可	不可	可	

注) 講演発表 A：建築デザイン発表のみ 1 題の発表

講演発表 B：建築デザイン発表および学術講演各 1 題（計 2 題）の発表

を請求書に記載の期限までに納入すること。ただし、論文予約会員は、発表登録費を免除する。

- b. 共同発表の発表登録費は、題数によらず 1 題分とする。
- c. 講演発表者（〇印）は発表者を代表して共同発表者の発表登録費の納入の義務を果たすものとし、全員の発表登録費の納入がない場合は、当該建築デザインの発表ができない。
- d. 発表登録費未納者は、2017 年度以降の学術講演会および建築デザイン発表会に応募できない。

### 10. 大会参加費 大会に参加する者は前記「9. 発表登録費」とは別に大会参加費を納入するものとする。

大会参加費および事前納入手続きについては本会ホームページおよび「建築雑誌」4 月号に掲載する。

### 11. 梗概集 採択された建築デザイン発表梗概は DVD 版大会梗概集（学術講演梗概と建築デザイン発表梗概を収録）に収録し、頒布する。なお、

発表登録費納入者にはDVD版大会梗概集を無償で送付する。

## 12. 著作権

- a. 建築デザイン発表梗概の著作権は応募者に帰属するものとし、本会は編集出版権をもつ。
- b. 梗概の複写権、翻訳権は本会に委託するものとする。
- c. 著作権の侵害等の問題は応募者がすべての責任を負う。建築デザイン発表梗概集は電子形態によって公開されることを前提に、写真等については他者の著作権を侵害しないように十分注意する。

13. 電子形態による公開 建築デザイン発表梗概集は、本会および本会が許諾したウェブサイトから全ページが公開される。

## 14. 講評等

- a. テーマ部門では招待講評者が2題程度の建築デザインを顕彰する。
- b. 大会終了後に招待講評者の講評を「本会ホームページ」に掲載する。

### テーマ部門のテーマ・招待講評者

2016年度のテーマ部門のテーマ・招待講評者は、下記のとおりである。

a. アタリマエの建築—場所の云うことにきく・環境との関係を意識する：  
浅石 優（元東京都市大学教授）

場所には固有の力があり、人・街・都市・自然は変化し生きつづけています。場所の云うことに耳を傾け、自身の身体感覚を拠る所に周りの環境との関係を意識した建築。居心地の良い街のような建築、埋もれた身体感覚を発掘してくれるような建築を求めています。

b. 「Co」を実践する建築：

木下庸子（工学院大学教授）

「Co」とは「コミュニティ=Community」「コラボレーション=Collaboration」「コハウジング=Cohousing」の接頭語であり、「共同」または「援助」という意味を持っています。集まって生活を営む社会において個人が、あるいは最小の共同単位である家族が、あるいはそれ以上の集団が「Co」を実践するための建築とは何なのでしょう。

c. 「生活」概念の再考をうながす建築：

土居義岳（九州大学教授）

近代住宅の成立過程で、生、生活、生命、人生などを総合した哲学にもとづいて、勤労、消費、余暇などが検討されて標準的な「生活」概念が確立された。これを21世紀にむけて再考、改訂するような建築を見たい。

d. 循環する建築・都市：

金田充弘（東京芸術大学准教授）

循環するのは、素材、建築の一部／全部、住人など、自由に設定してください。竣工後、劣化していきだけの建築とは異なる、積極的にリサイクル・リユース・リ○○され、生き続けていく建築のあり方を提案してください。

e. 環境性能とデザイン：

高口洋人（早稲田大学教授）

建築物には、快適な室内環境のみならず、省エネルギーや創エネルギー、資源循環性など高い環境性能が求められます。このような建物が長期間使用され、真価を発揮するには人々に愛されることも重要です。人々に愛されるデザイン性と高い環境性能を両立した建築を求めます。

f. 集団設計でつくられた建築・まち：

藤村龍至（東洋大学専任講師）

公共事業であっても民間企業であっても、競争から協創へと、デザイン

の方法論が代わりつつあります。専門家のあいだ、管理者のあいだ、利用者のあいだで議論し、プロセスの中で成果を積み上げた集団設計による建築やまちをテーマとしたいと思います。

### 発表会実施要領

#### 1. 発表の方法

講演発表者は、会場の定められたパネルに時間割に沿ってポスターを掲示し、定められた場所でPC用プロジェクターを使って講演発表および質疑応答を行う。会場・時間割は学術推進委員会プログラム編成会議が決定する。

#### 2. 講演発表時間

1題あたり8分（発表4分、質疑応答4分とする）

#### 3. ポスター

ポスターはA2判2枚（縦使い、左右並列）とし、原則として発表梗概を拡大したものとする。モノクロ、カラーは問わない。

#### 4. ポスターの掲示

ポスターは画鋲でパネルに貼れるように作成し、発表者が当日会場に持参し、各自で掲示・取り外しを行う。

### 原稿執筆要領

#### 1. 用紙設定

白地のA4判2ページとする。ワープロソフト等で上マージン15mm、下マージン15mm、左右マージン15mm、として設定する。なお、この基準から大きく逸脱した原稿は、執筆要領に反するものとして不採択となる場合がある。

#### 2. 記載方法

下記の項目をレイアウト見本に準拠して記載する。レイアウト見本はホームページ上で提供する。

##### a. 1ページ目上段

- ・和文・英文で、表題、会員種別・発表者名・所属を記載する。
- ・会員種別・発表者名（連名の場合は講演発表者を筆頭に記し、氏名の前に○印をつける）は上段に記載する。
- ・連名者で、設計統括責任者・指導教員等を明示する必要がある場合は、その者の氏名の前に※印をつけることができる。※印を付した場合は、その役割を註記する。

##### b. 2ページ目上段

- ・和文・英文で所在地（計画案の場合は適宜、とくに住宅等では建築主のプライバシーを考慮して表記する）、主な用途、敷地面積、建築面積、延床面積、キーワード、特記事項・データ等を記載する。

#### 3. 設計趣旨・説明文・図表および写真

設計趣旨（600字以上）・説明文・図表・写真等は適当と思われる場所にレイアウトする。設計趣旨・説明文の文字の大きさは8ポイントを原則とする。図表および写真は原稿に貼り付けた状態でPDF化し、別ファイルにはしない。発表者以外が撮影した写真等を使用する場合は、著作権に十分注意する。

#### 4. キーワード

発表申込書に記入したものと同一キーワード3～6個を必ず記述する。用語は日本建築学会「学術用語集—建築学編」から選ぶことを基本とするが、適当な用語がない場合はこの限りではない。

#### 5. ファイルサイズ（容量）の制限

ファイルサイズは3MB以内とする。3MBを超えたファイルは受信しない。提出するファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティは設定しない。

## 電子投稿用原稿作成上の注意

### 1. ファイル形式

原稿は Adobe Reader で表示および印刷可能な PDF (Portable Document Format) ファイルで提出してください。

### 2. ファイルサイズ (容量) の制限

ファイルサイズは 3MB 以内とします。3MB を超えると受信いたしません。またファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティ設定はしないでください。

### 3. ファイル名について

必ず拡張子 (pdf) がついているファイルをお送りください。

### 4. 提出方法

提出方法はインターネットによる発表申込みの画面で送信してください。メール添付による提出はできません。

### 5. 作成するアプリケーションと OS

原稿を作成するアプリケーションの制限はありません。OS は Windows 7 以上または Mac10.8 以上を推奨します。

### 6. PDF ファイルの作成方法

PDF ファイルは、原則として Acrobat X 以降 (または同等品) を用いて作成します。作成方法についてはソフトに付属のマニュアルまたはホームページ上の執筆要項をご覧ください。

Acrobat の詳細については <http://www.adobe.com/jp/> をご覧ください。

### 7. 使用できるフォントの制限

投稿された PDF ファイルは Windows または Mac 上で稼働する DVD に掲載されますので、原稿内に使用するフォントは以下に限定してください。

OS	Windows	Mac (OS10.8 以上)
日本語フォント	MS 明朝または MS ゴシック	MS 明朝、MS ゴシック、ヒラギノ
英字フォント	Arial, Century, Helvetica, Symbol, Times, Times New Roman	

※ どうしても他のフォントを利用したい場合は、PDF 作成時にフォントの埋込みを行ってください。

### 8. 色使い

本文の文字を黒色とするほか、色使いの制限は特にありません。

### 9. 写真や画像などの解像度

写真や画像を含む場合、PDF 化することにより、出力品質が劣化することがあります。ファイルサイズ制限内で、PDF 化する際のジョブオプションの値を高くして作成してください。

### 10. 印刷の確認

作成した PDF ファイルは一度プリンターで印刷し、執筆者の意図どおり印刷されることを確認してください。

### 11. その他

応募上の注意、発表申込み記入要領、電子投稿要領は、学術講演会と共通です。

## 会員番号・大会用会員外登録番号の取得

2016 年度大会で建築デザイン発表するために新たに入会される方は、応募時までに必ず入会手続きおよび入会金・会費の支払い手続きを済ませてください。応募するためには発表者 (会員外も含む) 全員の会員番号または大会用会員外登録番号が必要ですので、次の方法により取得してください。

**会員番号の取得:** 本会ホームページで入会手続きを行ってください (<http://www.aij.or.jp/>)。

①インターネット経由で入会手続きを行う場合は、入会金・会費の支払い方法として「口座振替」を希望すると Web 上で会員番号を即時に取得できますが、「請求書払い」を希望すると入金後に会員番号が発行されます

ので、取得に 10 日間前後の時間がかかります。十分にご留意ください。

なお、正式な入会は理事会承認後になります。

②郵送または FAX で入会手続きを行う場合は、入会申込書が事務局に到着後、**会員番号の取得に 10 日間前後の時間がかかりますので、できるだけインターネット経由で「口座振替」をご利用ください。**

入会予定者は入会金・会費の支払い手続きをされないと、入会手続きが完了しません。

**大会用会員外登録番号の取得:** 本会ホームページ

(<http://www.aij.or.jp/jpn/taikai2016/>) で取得してください。

### ●2015 年度建築デザイン発表会 [テーマ部門] 顕彰者

【場所と流れ】招待講評者: 大野秀敏

・14143 伊勢季彦 (大成建設)・村瀬宏典・西崎暢仁

・14151 美島康人 (竹中工務店)・町田巖

【柔らかな建築】招待講評者: 彦根 茂

・14095 木上理恵 (神戸大)・足立裕司・福岡孝則

・14109 三浦太一 (アトリエブランク)・小澤丈夫・海野洋光・角哲

【地域や歴史と親和性のある建築】招待講評者: 堀越英嗣

・14083 大野宏 (滋賀県立大)・芦澤竜一

・14090 平頼有人 (佐賀大)・森部康司

【大きな家】招待講評者: 篠原聡子

・14053 連健夫 (連健夫建築研究室)・澤岡詩野

・14055 手島浩之 (都市建築設計集団 UAPP)

・14062 山崎悠時 (日本大)・佐藤信治

【スマートウェルネス建築デザイン】招待講評者: 伊香賀俊治

・14001 岡崎啓祐 (大成建設)・杉江大典・関政晴

・14006 青木裕一 (清水建設)・池内匠

・14007 安藤邦明 (竹中工務店)・阪本泰智・山田藍・須賀順子・青木和雄・野崎尚子・黒木友裕・菊池卓郎・山中俊夫・嘉名光市・河合哲夫・茂手木直也

【自然との関係を拡張する都市の建築】招待講評者: 塚本由晴

・14034 高橋卓 (日本設計)・郷田桃代

・14042 脇坂圭一 (名古屋大)・齊川尚樹・服部奨馬・丹羽麻衣子・蒲健太郎・小野竜也

・14050 山下唯 (早稲田大)・斎藤信吾・小林ひかる・佐野優・高橋大樹・古谷誠章・森田舞

### ●2015 年度大会建築デザイン発表会運営委員会

委員長 萩原 剛 (竹中工務店)

幹事 北山 恒 (横浜国立大学)

陶器 浩一 (滋賀県立大学)

古谷 誠章 (早稲田大学)

堀越 英嗣 (芝浦工業大学)

委員 浅石 優 (元東京都市大学)

伊香賀俊治 (慶應義塾大学)

小泉 雅生 (首都大学東京)

下吹越武人 (法政大学)

杉浦 久子 (昭和女子大学)

清家 剛 (東京大学)

田辺 新一 (早稲田大学)

三井所清典 (アルセッド建築研究所)

本杉 省三 (日本大)